

利賀っ子だより



R 4 . 9 . 1 4

○ 恵まれた学習環境の中で

今年度、利賀小学校では、1～6年生の体育科、6年生の国語科・理科・社会科で中学校教員の指導を受けています。

6年生の理科では、中学校の理科室で「大地のつくり」の学習を行っていました。指導者が準備した「桜島火山灰」「高岡市石堤地内」の砂を子供たち一人一人が実体顕微鏡使って、その違いや共通点を見付けるといった活動が行われていました。

理科室にある一般的な鉱物見本を見せたり、実体顕微鏡で観察できるように教師が準備しておいた標本を順番に見せたりする活動はよくあります。本校では、専門性の高い理科教員から指導を受けるだけでなく、一人一人が納得のいくまで自分の手で機器を操作して観察できるという場が保障されています。指導者のちょっとしたこぼれ話が子供たちの興味をひくようで、「先生は旅行に行っても理科のことを考えておられる。」「先生の話は、『えっ』の連続。」など感想を話していました。



【こうやって汚れを取ります】



【大きな杉の所だ】

低学年では、これまでに探検してきた場所を地図で確認する活動をしていました。一人一人がその場所で発見したこと、感じたことを記録したカードと探検場所とを対応させていました。

作業をしながら、そして、作業後に探検を振り返ることができるだけでなく、自分の学習の足跡がしっかりと位置付けられ、それを認め合うことで、学習の達成感、満足感を味わうことができると思いました。

登校後や休み時間等には、一輪車の練習をする子供がたくさんいます。一輪車は、全員の分が準備されています。ですから、順番待ちをする必要がなく、乗り慣れた自分に合った高さの一輪車で思う存分練習することができます。びっくりするくらいの上達ぶりです。

少人数ならではのよさを最大限に生かしながら、今後もよりよい教育活動が展開できるよう努力して参ります。
(高田 公美)



【校長先生！アイドリングができるようになりました】